

歯科衛生士マニュアル



In は基本的に片顎トレーで印象します。

対合

☆形成部位が出血している場合は対合から印象します。

1. ユニットを倒し『噛み合わせの型取りからしますね、少々お待ちください。』と患者さんに伝えます。
2. アルジネートを練り、トレーに盛ります。
3. 『冷たい材料が入りますね。』と伝えてから対合を印象します。
4. 『固まるまでそのままお待ちください。』と伝えてからトレー保持します。
☆アルジネートの稠度にも寄りますが固まるまでは練和してから約3分間です。完全に硬化してから30秒ほど待ちます☆
5. 『外しますね。』と声をかけてトレーを外しうがいしてもらいます。
6. 取った印象を先生にチェックしてもらいます。

本印象

1. 先生にチェックしてもらったら、『次は銀歯の所の型取りをしていきますね。』と伝えてユニットを倒します。
2. あらかじめ使う寒天シリンジを用意しておきアルジネートをトレーに盛りシリンジに寒天をセットします。
☆アルジネートを練る前に寒天シリンジのノズルに前回使った寒天がないか確認したほうがスムーズです☆
3. トレーやグローブをした手の甲などに寒天を試しに出してきちんと出るか確認してから『温かい材料が入りますね。』と伝えて窩洞に沿って寒天を流します。
4. その上からアルジネート口腔内に入れ印象し保持します。
5. しっかり硬化したのを確認したら外し先生にチェックしてもらいます。

バイト

1. 『最後に噛み合わせの型を取りますね。』と伝えワックスをバーナーで温めます。
☆熱すぎず柔らかくなる程度まで温めれば十分です☆
2. ユニットを倒し『温かい柔らかい材料が入りますね。』と伝えながら部位に合わせた場所にワックスを置き患者さんに噛んでもらいます。
☆『噛み切るくらい強く噛んでくださいね』と伝えると綺麗に取れます☆
3. ワックスにエアーをかけて硬化させたら外して印象同様チェックしてもらいます。

仮封

1. 窩洞の脇にロールワッテを置きエアーでよく乾燥させます。
2. 仮封材を窩洞に薄くなりすぎないように流し込み照射器で硬化させます。
☆隙間があるとしみてしまうので隅々まで流します！☆



3. カチカチ噛んでもらい噛み合わせが高くないか確認して終わります。

※仮封は取れやすいためくっつきやすい食べ物(ガムやキャラメル等)は控えること、
麻酔をしている場合は食事取る際気をつけなければならない事、麻酔は大体2時間程度
で切れることを忘れずに伝えます。※

☆メタルコア

メタルコアも片顎で印象します。

基本的に対合は取らなくて大丈夫です。

印象

1. In 同様印象を取ることを伝えユニットを倒します。
2. 寒天のシリンジを確認しアルジネートを練りトレーに盛ります。
3. 声掛けを忘れずにしてから寒天を流し印象をとり硬化を待ちます。
4. 印象を外し先生にチェックしてもらいます。

仮封

メタルコアの仮封はキャビトンと綿球でします。

1. コアの形成部位に合わせた綿球を作りそこに綿球をおきます。
2. 平らになるようにキャビTONを詰め、水で濡らした練成充填器で押して硬化させます。

※In 同様仮封は取れやすいことを伝えます※

☆Br、クラウン

☆Br、クラウンはその日に形成し印象する場合と前日までに形成をしTEKを入れている場合があります。☆

1. TEKが入っている場合壊さないようにリムーバーでTEKを外し超音波スケーラーでセメントやプラーク等をきれいにします。

☆リムーバーを使うときはしっかり左手で押さえます！



2. このあとの印象の流れはInと同じですが、Brの場合はポンティック部分までしっかり寒天を流します。
3. バイトまで取り終わったらTEKをテンポラリーセメント(ハード)で仮着します。

☆仮着する前に探針や超音波スケーラーでTEKの内面を綺麗にしておきます☆

- ・ ロールワッテをTEKの上から噛んでもらい2分間セメントが固まるまで待ちます。(タイマーをセットします)
- ・ タイマーが鳴ったらセメントアウトします。

※その日に形成し、TEKがない場合は歯牙を覆うように仮封材で仮封します。

◇シーラント◇

シーラントには光照射で固まるフジⅢLCを使用します。

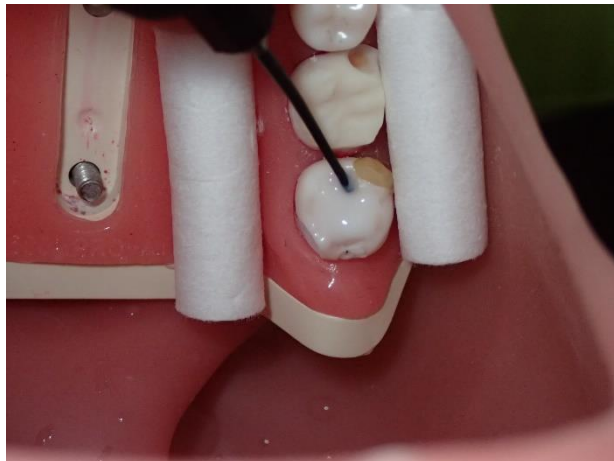
※子どもは唾液が多いので注意が必要です！※

1. まず裂溝をペリオメイトで綺麗にしていきます。

ペリオメイトを使っても裂溝に汚れが残っている場合は AD ゲルを使い綺麗にしていきます。

☆AD ゲルの使い方

1. きれいにしたい歯牙の脇にロールワッテを置きます。
※下顎の場合舌で舐めてしまわないように舌側にもしっかりロールワッテを入れます！
2. ロールワッテをしっかり押さえたら咬合面を覆うように AD ゲルを出します。



3. 探針で茶色くなっている裂溝を中心にガリガリときれいにしていきます。



4. それを二分ほど続けたら水洗し起こしてゆすいでもらいます。

ADゲルを服にこぼすと漂白されてしまうので気を付けます！

2. 咬合面がきれいになったらユニットを倒してフジⅢを練ります。
セメントの稠度は練板を傾けた時零れてしまうくらい緩くて大丈夫です。
☆目安としては液一滴に対して粉半量です
3. ロールワッテを置きしっかり乾燥させたらスポンジの小(黄色の柄)で
裂溝に塗布していきます。
たくさん盛る必要はないので裂溝を少し埋めてあげる程度で大丈夫です。
☆頬側面の裂溝も忘れやすいのでしっかりとうめます☆
4. 裂溝すべてに塗布し終わったら光照射します。
5. 固まったらカチカチ噛んでもらい変な感じが無いか聞きます。
変な感じがする場合は探針やエキスカで高そうな所を削ってあげます。
大丈夫そうなら起こしてゆすいでもらいます
6. 先生にチェックしてもらい終わります。

**小さな子供の場合「高い」が伝わらない
ことが多いので、「高い？」ではなくて「変な感じる？」
などと聞いてあげると答えやすくなると思います！**